



2026年5月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日(月刊定価1部60円)
(購読料はYMCA会費に含まれています)
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 名古屋YMCA広報

YMCA News

5



中高生ボランティアグループ

名古屋インターアクトクラブ

担当スタッフ 遠藤 恵美子

「YMCAで仲間が広がった」「YMCAで新しいことを体験できた」「YMCAは居場所」

10代の中高生からも、10代をYMCAで過ごした80代の先輩方からも、変わらずに聞こえてくる声です。

中高生ボランティアグループである名古屋インターアクトクラブは、1968年より中高生のボランティア活動の場として続いてきました。現在は、様々な学校の40名ほどの中高生が登録をしています。ボランティア活動を通して、自分たちで実践できることを考え、様々な世代、立場の人とかかわり、社会の課題に触れることもあります。

ボランティア活動には、いつも相手があります。その相手は、ほとんどが当日まで会ったことが無い人です。ですが、同世代の仲間と試行錯誤して活動を作りあげ、その人たちが喜んでくれた姿、笑顔からたくさんの力をもらいます。活動の帰りには、「喜んでくれてよかったね」と、話しながら帰る道は同世代の仲間たちの関係性をさらに深めてくれています。

大人とかかわり方も様々なです。身近な世代の大学生が活動のサポートをしてくれています。外部のボランティアグループとの活動では、年齢は関係なく対等な立場で共に活動してくれる団体もあります。中高生たちは、様々な大人の姿に出会い、様々な関係性で大人ともかかわっています。

中高生を取り巻くマイナスな環境として、2025年に中高生の自殺者数が過去最多となりました。全体の自殺者数は低下しているのに中高生は増加していることに大きな衝撃がありました。心の健康が大きな問題となっています。

同世代の仲間と同じ方向を見て、誰かのために活動を作り上げる経験は、価値観の違いに気づきながらも同じ目標に向かう体験ができます。心の寛容さ、柔軟さが身についていきます。また、社会には様々な立場の人がいることを知ります。様々な立場の大人とかかわる中で、いろんな大人がいること、様々な考え方があることを知ることができます。このような人とかかわり、そして、誰かのために何かをしたいと思いつけるメンバーどうしだからこそ、インターアクトクラブの活動は中高生たちの心を健やかに、豊かにしてくれるのだと思います。

今の中高生が80歳になっても、YMCAがユースの居場所であれるよう、これからも活動を続けていきます。

エピソード1 入院している子どもたちのための音楽会

入院経験のある高校生が、同室で入院していたおばあちゃんの楽しみが数日に1回の家族との電話、という話を聞いたことがあり、入院中の楽



しみを増やしてあげたいと提案してくれました。楽器の演奏が得意な子が多かったこともあり、藤田医科大学小児科で音楽会を開催させていただきました。病院の方も称えてくれるアットホームな雰囲気の中で楽器の演奏、紙芝居、手遊びを一緒に楽しみました。身近な人の声に対して自分たちができることを考え、実践できた機会となりました。

エピソード2 高齢者施設で交流会

高齢者のデイサービスで交流会をしました。利用されている方たちが楽しめるような音楽を選びイントロクイズをしたり、〇×クイズもしました。〇×クイズでは、本物の梅かどうかを当ててもらおう、写真を見てもらい坂本九が当ててもらおうなど、世代を考えて準備をしたおかげで、利用者の方もとても楽



しんでくれました。デイサービスでの活動は、高校生自らこのような活動をさせてほしいと施設に話をしに行きました。緊張することでも一歩踏み出してみると、こんなにたくさんの方が笑顔で過ごしてくれるという喜びもあったと思います。



インターアクトクラブメンバーの声

近藤 洸平(高校3年生)

高校生になるタイミングで誘われて興味を持ち入会しました。もともと年に一度ほど野外活動終わりに募金活動することがあってその頃からそういう活動に興味があってそこから入ろうと決めました。

活動を続けてくうちに、どんどん他校の友達も増えてきて1回1回の活動が楽しくなってきました。僕は「友達に参加しているから」という理由で参加することも結構多いです。それぐらい友達の影響は大きいです。僕が一番印象に残っている活動は藤田医科大学で開催した音楽会です。特に印象に残ってるのは、一昨年開催したはじめての音楽会です。最初は子どもたちが紙芝居楽しんでくれるかとても不安でした。でも予想に反して子どもたちは紙芝居を静かに聞いて楽しんでくれました。それにメインの音楽会も子どもたちは一緒に鈴で演奏したりして楽しんでくれて嬉しかったです。

インターアクトではやりたい活動があったら自分たちで決めさせてもらえることが多いです。例えば音楽会では、



曲を決めることから台本作り、練習日決めまで色々なことを決めます。手伝ってもらうこともありますが、かなり自分たちに委ねられていて貴重な体験になりました。学校では体験できないことをここでは自主的にやろうと思えば出来るため、ちょっと前まで自主的に動くことは少なかったけど、最近は自主的に動こうと思って行動することが増えました。

Road to 125

山本和子さん



YMCAとの出会いは、30代前半の時です。ママさんバレーの上手な方がYMCAに通っているということでYMCAの存在を知りました。その後、南山にもYMCAができ通い始めました。中学校のクラブ活動でお茶とお花の先生をしていたこともあり、学生時代は一切スポーツはやらずに過ごしてきました。YMCAで様々なスポーツに出会い、いろいろできるようになりました。ヨガ、体操、ダンス、タスポニー、柔道、トランポリンなどを楽しみ、さらにスケート、ボーリング、ゴルフは道具を揃えるほどでした。

ご長男が小学生のときにサイクリングの活動にリーダーとして参加しました。朝5時から行っていたサイクリングクラブ。やりかけたことは最後までやりとげるよう子どもたちにも話していたこともあり、朝が苦手であっても、寒い日も、暑い日も、しんどくても300回以上続けて参加をしました。

6月で90歳の現在も、ストレッチクラスの会員としてYMCAに通っていらっしやい



ます。元気の源はYMCAに来ること、みんなに会えること。また、50歳を過ぎてから知った楽しみでもある、飲みに行くのも元気の源のひとつです。ひ孫たちも南山YMCAの体操教室に通ってくれています。

やりかけたことは最後までやる、という精神は今でもご健在です。毎日30分歩き、プロテインを飲み、足の筋力が衰えないようにしています。めんどくさいと思ってしまうから、午前中に終わらせておく、そのような気持ちの強さもご健在です。

長く付き合う人には嘘をついてはいけません。きちんと本音で付き合わないといけません。

「やりかけたことは最後までやりとげる」精神の通り、現在も南山YMCAに通い、そこに集う人とのつながりを大切にしてくれています。

日本語学院 お国だより

ミャンマーの新年のお祭り ティンジャン



ミャンマーの伝統的なお祭りであるティンジャンは、新しい年を迎えるために行われる大切な行事です。このお祭りは毎年4日間の年もあれば、5日間続く年もあり、国中でにぎやかに祝われます。人々は水をかけ合いながら、古い年の悪いことを洗い流し、新年をきれいな気持ちで迎えます。国中で、祭りの日になると「パダウクの花」と呼ばれる黄色い花が咲きます。この花を新年の花として大切にしています。

ティンジャンの期間中は、大人も子どもも水をかけ合っで楽しめます。おもしろいことに、水をたくさんかけられても体調を崩す人はあまりいないといわれています。また、食べ物や飲み物を無料で配る活動も行われます。新年の最初の日には、お寺でお布施をしたり、家の掃除をしたりして、新年を気持ちよくスタートします。ティンジャンは楽しいだけでなく、人々のつながりを深める大切なお祭りです。

(エイン、テツ)



連載 事業所紹介

こひつじ保育室

名古屋YMCA本館1階にあるこひつじ保育室は、定員19名、0歳児から2歳児までの子どもたちが通う小規模保育施設です。少人数だからこそできる、あたたかく丁寧な保育を大切に、日々子どもたちと向き合っています。

4月から新しいお友だちが加わり、にぎやかな毎日をごっています。ドキドキわくわくする気持ちや不安な気持ち、進級してひとつ大きくなった喜びなど、さまざまな思いがあふれています。一人ひとりの気持ちを受けとめ、安心して過ごせる環境づくりに努めています。

日中は散歩に出かけて春の自然に触れたり、公園で体を思いきり動かしたりしています。また、ネイティブ講師による英語クラスや体操教室(2歳児クラス)、読み聞かせ会など、豊かな経験ができる機会も設けています。

これからも一人ひとりを大切に、丁寧にかかわる保育を続けてまいります。

(保育士 田邊 英里香)



総主事コラム

おおきな木

南山幼稚園のみどり門の横には、高さ約20メートル、樹齢80年以上の大きな木が立っていました。長いあいだ「ヒマラヤスギ」と思っていたのですが、実はドイツトウヒ。クリスマスツリーにも使われる、均整の取れた円錐形の木です。日本には自生しないため、1935年の幼稚園開設時に、クリスマスの希望を象徴する木として植えられたのだろうと想像しています。幼稚園の歴史をすべて見守ってきた大切な木でした。

しかし、あまりにも大きくなりすぎ、強風で大きな枝が落ちたり、カラスの寝床になったりと、安全面での心配が増えてきました。そこで断腸の思いで伐採を決断しました。職人さんがクレーンで吊られながら木

に登り、上から5メートルほどずつ切り分け、園庭に下ろして細かく刻み、運び出していきます。長い年月をかけて育った木が、わずか半日で切り株になってしまいました。

私の好きな絵本に、シェル・シルヴァスタイン作『おおきな木』があります。森のおおきな木は、自分の実や枝を差し出して男の子を喜ばせていました。やがて成長した男の子が「家を建てたい」と言うと、木は胸を痛めながらも幹を差し出し、ついに切り倒されてしまいます。大きな姿を失っても、木はなお男の子を思い続け、切り株となって静かに彼の帰りを待ち続ける物語です。

幼稚園で私たちの安全を守り続けてくれたこの大きな木も、切り株になってもなお、私たちをそっと見守り続けてくれると信じています。

(中村 隆)

新採用職員紹介



●発達サポートかみさわ●松尾 貴美

名古屋YMCAでは学生リーダーを経て、野外活動や水泳教室、最近では乳幼児教室やYMCAかみさわ保育園で携わらせていただきました。たくさんのお子どもたちに出会い、どのクラスでもかけがえない時間を過ごしました。

さらにステップアップを目指し、発達サポートかみさわへ、この4月より異動になりました。保育園とともに同じ屋根の下にありますので、互いに連携を深めていきます。今まで経験したことや、培ってきたこと、また新しい出会いに感謝を忘れず、通所してくる子どもたちにとって、さらにより良い場となるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



●日本語学院●山岡 千夏

初めまして。名古屋YMCA日本語学院に配属となりました、山岡と申します。京都出身で、これまで約2年3か月日本語教師として勤務してまいりました。ポジティブ思考で決断が早くはっきりモノを言う性格です。強みは日本文化や行事、観光地について分かりやすくまとめて説明できること、弱みは柔軟なスケ

ジュール変更を苦手とすることです。今後は、個人で勉強中の日本語教育へのAI活用を用いて業務の効率化にて学校に貢献するとともに、授業力を磨き、学生の日本語力向上に努めてまいります。趣味は海外旅行で年に4回ほど出かけています。今年初めての一人海外旅行にも挑戦する予定です。至らない点も多いかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いたします。



●日本語学院●菊池 千絵

この度、着任いたしました菊池と申します。趣味は旅行や温泉、神社仏閣巡りで、各地の文化や歴史に触れることを楽しみにしています。また、読書や語学学習も好きで、新しい知識や考え方に出

会うことに魅力を感じております。授業では、学生ひとりひとりが安心して発言できる環境づくりと、わかりやすい説明を大切にまいります。まだ至らない点も多いかと思いますが、日々学びながら成長し、少しでも貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

維持会員感謝・ご寄付感謝

※ご寄付をいただくタイミングによっては、掲載が前後する場合がございますのでご容赦ください

維持会員(継続)

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|----------------|-------|------|-------|
| 下村 徹嗣 | 下村 展子 | 黒田 忠嘉 | 服部 千秋 | 山本 伸彦 | 渡邊 信子 | 西村 清 | 西村 牧子 |
| 八木 武志 | 桐山 潤 | 桐山 恵子 | 坂本 清則 | 小林 滋記 | 加藤 明宏 | 三牧 勉 | 加藤 渡 |
| 神野 啓子 | 金 智重 | 山口 一雄 | 牧野 和博 | OlsonKikuchi三恵 | | | |

賛助会員(継続)

丸丹スポーツ用品株式会社

寄付金・募金

(根の上募金) 橋爪 良和 (一般寄付) 東海ワイズメンズクラブ

早天 祈祷会

日時 5月12日(火) 7:45～
会場 名古屋YMCA5Fチャペル
奨励 名古屋北教会 山田詩郎先生

お問い合わせ

- 名古屋YMCA 052-757-3331
- YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
- 南山ファミリーYMCA 052-831-6968
- 南山幼稚園 052-831-8271
- 神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
- YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
- 名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
- 発達サポートYMCAかみさわ 052-879-6300
- かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2026年度聖句

「平和を実現する人々は、幸いである。」
マタイによる福音書 5章9節